

Japanese Patent Office (JP)
Utility Model Publication (U)

Utility Model Publication Number
No. SHO 29-10930

123 D 2 (8 A 24)

Publication Date: September 2, 1954

Filing Date: October 27, 1952

Filing Number: SHO 27-28604

Inventor: Yoshio UENO 3859-7 Shina-cho, Toshima-ku, Tokyo

Patent attorney: Kiyoshi HAYAKAWA

Title: SPOOL

Claim:

A constitution of a spool as shown in drawings, wherein a pair of plates A, A, having an annular protruding portion 1 mate each other, and an interior fringe 2, 2 of the annular protruding portion is fixed each other, and an outer fringe 3, 3 approach each other and be mate with pressure.

公告 昭 29.9.2 出願 昭 27.10.27 実願 昭 27-28604

出願人 考案者 植 野 善 雄 東京都豊島区椎名町7の3859
代理人 弁理士 早 川 潔

(全1頁)

糸

巻

図 面 の 略 解

第1図は本案の平面図で一部切欠する第2図は縦断正面図、第3図は分解縦断正面図を示す。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本考案は環状膨出部1を有する両板A、Aを合掌し該環状膨出部の内側周縁2、2を互いに固着し且外側周縁3、3を互いに接近し圧接せしめた構造であつて両板A、Aはセルロイド板又は合成樹脂板等の任意薄板を使用し環状膨出部1は圧搾型によりて相対的に膨出成形し両板の環状膨出部を合掌して糸Bを巻き付け收容する環状袋を構成する即ち該環状袋は合掌せる環状膨出部1、1の内側周縁2、2をセルロイド板にありてはアミール、アセトンを塗布して貼合固着し合成樹脂板の場合は加熱又は高周波電気溶接により融合密着せしめ環状膨出部1の外側周縁3、3を互いに接近する様に屈曲し弾性的に圧接し糸を挟入し引き出し或は糸を挟持する様にする。又両板A、Aは環状膨出部1の

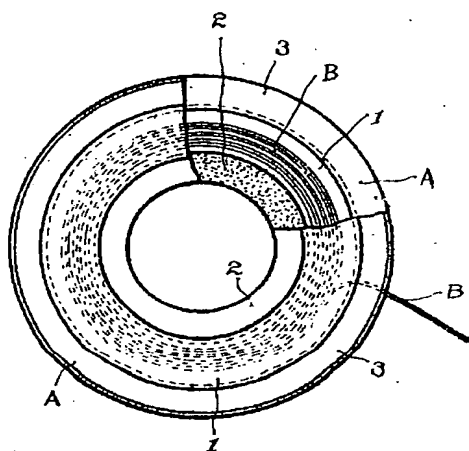
内側周縁2を残して通孔を打ち抜き開穿せるも通孔を開穿せずして両板間に表示板又は印字レタデル等を挟着することもある。

本考案は半形宛の両板を合着して成る糸巻に於て其の両側板の外周縁を互に接近せしめ圧接して環状袋を形成するを以て其の外周縁の圧接面間に糸を挟入し環状袋内に巻き込み糸の一端を常に其の外周縁圧接面間に挟持し必要に応じて糸を引き出し得て巻着せる糸は環状袋内に收容せられ外部に露出することなく糸の一端は外周縁圧接面間に挟持せられ解けることなく携帯使用に便利なものである。特に釣糸の糸巻として適切な効果がある

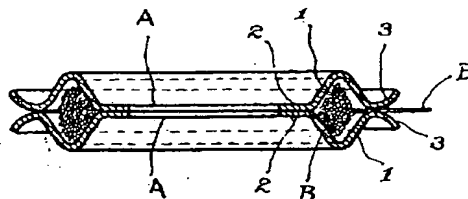
登 録 請 求 の 範 囲

図面に示す如く環状膨出部1を有する両板A、Aを合掌し該環状膨出部の内側周縁2、2を互いに固着し且外側周縁3、3を互いに接近し圧接せしめた糸巻の構造。

第1図



第2図



第3図

